

申 入 書

兵庫県議会公明党・県民会議議員団

兵庫県議会ひょうご県民連合議員団

維新の会兵庫県議会議員団

日本共産党兵庫県会議員団

兵庫県議会正副議長選出に関する申し入れ

議会運営の根幹ともいうべき正副議長選出のあり方については、平成 27 年の県議会議員選挙を経た新議会発足直前の 6 月 10 日に、4 会派により申し入れを行いました。今般、平成 29 年度定例県議会の始動にあたり、改めて申し入れを行うものであります。

兵庫県議会基本条例では、「議会は、二元代表制の下、県民を代表し、県の意思決定を担う議事機関として多様な県民の意思の調整を図り県政に反映させる」ものとされています。しかしながら、議会運営の根幹ともいうべき正副議長については、ほぼ半世紀にわたり自由民主党議員団が独占を続けており、従来からその見直しを求めてきたところです。

今年の兵庫県政 150 周年を契機として、二元代表制の下、多様な県民の意思を県政に反映させ、次世代へ新たな兵庫の展望を切り拓いていかなければなりません。

そこで、議会改革の具体的な取り組みとして、正副議長選出のあり方を見直すべき好機と捉え、更に議会運営の公正・公平性を一層確保するために、次の点について適切に対応されるよう強く要望します。

記

- 1 より適切に議会の監視機能を発揮するため、副議長は第 1 会派以外の会派からの選出を実現すること。

平成29年6月1日

兵庫県議会自由民主党議員団

幹事長 加田 裕之 様

兵庫県議会公明党・県民会議議員団

幹事長 北条 やすつぐ

兵庫県議会ひょうご県民連合議員団

幹事長 石井 健一郎

維新の会兵庫県議会議員団

幹事長 徳安 淳子

日本共産党兵庫県会議員団

団長 ねりき 恵子